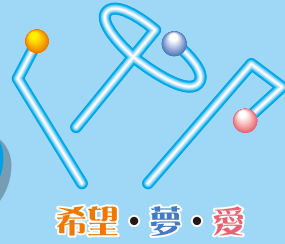


せんだん



「QRコード」から過去の地域だよりをご覧いただけます。

一人も泣く人のいない一人残らずの人が喜ぶ社会づくり

新年度のご挨拶

新緑の候 皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、社会福祉法人一れつ会、関係事業所に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

2024年4月1日に職員辞令交付式を行い、6名の新規採用職員、5名の中途採用職員を迎え、243名でスタートいたしました。

新年度に際しまして、今年度、「人材育成」に対する新たな取り組みを実施させていただきます。

①生涯発達支援と支援領域の観点での支援の強化及び研修の充実

人は生涯を通じて発達している存在であり、その各ライフステージでの支援領域は、i 健康な身体(で喜ぶ) ii 趣味・スポーツ等(を通じて学ぶ・楽しむ) iii 友達・仲間等(とかかわる)の3つによって支えられている「生き甲斐」と、さらに、この3つを支えるiv 仕事「はたらく」です。それらの支援領域での取り組みを、個別支援計画やアセスメントで、利用者に挑戦、取り組んでいただく部分と、支援者が支援する部分を明確にして、統一した支援体制を構築します。その具体的な取り組みとして、職員に対し、専門性のある外部の方と継続して日々の実践に活用できる学びの場を設けます。その取り組みの一つとして、菅野敦氏(東京学芸大学名誉教授)をお招きして、実際の現場を見てご指導いただく実践研修を実施します。

②研修制度の充実

昨年度から引き続き1on1や面談、職場の中での自身のやりがいやその他職員との関わり等を通し、今年度は①職員同士の人間関係が良好になる。②従来より高い目標に取り組めるようになる。③組織全体のパフォーマンスの向上を目指す。職員一人一人の「自己肯定感」や「自己効力感」の向上を促す環境作りを図り、そこから組織としての「組織効力感」を高められるよう取り組みます。

「一れつ会」の法人理念でもある「一人も泣く人のいない、一人残らずの人が喜ぶ社会づくり」の実現に向け、今年度も、我々職員一同はさらなる研鑽を積み、利用者をはじめ、地域の皆様に「一れつ会がなくては困る」と思っていたただける法人を目指して努力してまいります。今後ともご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



社会福祉法人一れつ会
理事長 小林智久

社会福祉法人 一れつ会



- 法人本部
〒720-2419 福山市加茂町字上加茂811番地
TEL : (084)972-5544 FAX : (084)972-5549 IP電話 : 050-3821-0740
HP : <https://www.ichiretsukai.jp> E-mail : itiretu@h2.dion.ne.jp
- 事業所一覧
せんだんの家(生活介護、就労継続支援B型)
いこいの家(施設入所支援、生活介護、短期入所、日中一時支援)
ウィズ(就労継続支援A型)
ほほえみ(生活介護)
居宅介護支援センター和らぎ(居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援)
ほっと(一般相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援事業)
しんぷおにい(生活介護、就労継続支援B型)
春日寮(施設入所支援、生活介護) かが(短期入所、日中一時支援)
青葉(生活介護、就労継続支援B型、就労移行支援、自立訓練(生活訓練))
いすみ(共同生活援助(グループホーム))
かがやき(放課後児童クラブ)

いこいの家

高木 里菜 (たかぎ りな)

- ①いこいの家
- ②一れつ会の事業所を見学した際に、利用者の方と職員の方の雰囲気良かったこと、私も笑顔で楽しく活動しながら一人ひとりの生活を支援したいと思ったことがきっかけです。
- ③音楽を聴くこと、読書(小説から漫画まで幅広い本を読む)

吉兼 隆太郎 (よしかね りゅうたろう)

- ①いこいの家
- ②学生の時、友人から誘いを受け、ほほえみでアルバイトをし、利用者さんの支援をさせていただきました。その際に職場の雰囲気が良く、職員の方々が優しく一緒に働きたいと思ったからです。
- ③魚釣り



高木 里菜



吉兼 隆太郎

しんぷおにい

田村 成希 (たむら なるき)

- ①しんぷおにい
- ②知人の紹介で一れつ会の存在を知りました。そこから福祉の仕事に興味湧き、見学をさせていただいた時のあたたかな雰囲気が印象的で、この職場で仕事をしたいと思いました。
- ③ゲーム、筋トレ



田村 成希

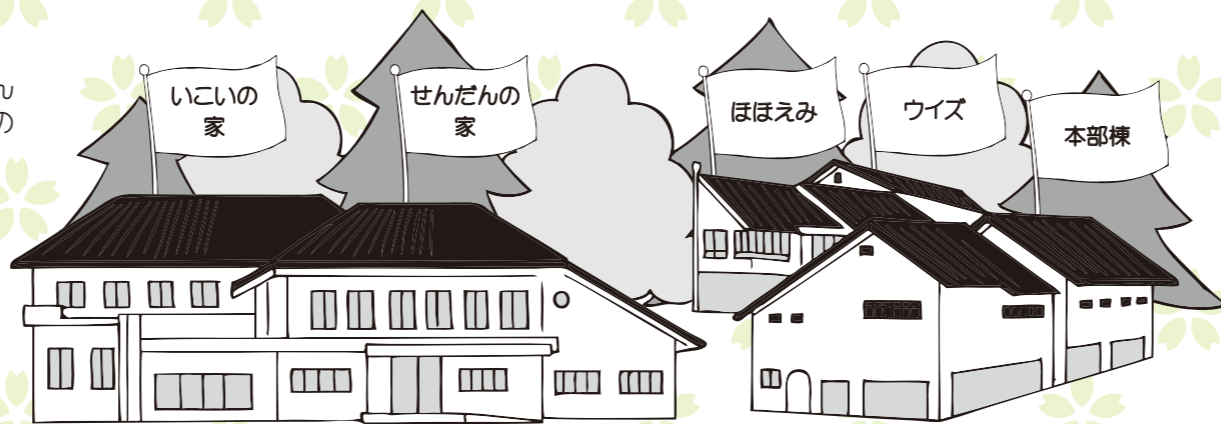


しんぷおにい

新入職員紹介

新しく一れつ会の仲間になった職員を紹介します。

- ①配属先 ②一れつ会に就職した動機 ③趣味(得意なこと)



ほほえみ

石田 愛莉 (いしだ あいり)

- ①ほほえみ
- ②ほほえみで実習した際、職員の方の働く姿や利用者の方々との関わりから多くのことを学び、一れつ会に就職したいという思いが強くなり、就職を決めました。
- ③K-POPを聴くこと



石田 愛莉

ファム・ティ・ハ

- ①ほほえみ
- ②日本の文化や生活を知りたいと思い、6年前にベトナムから来日しました。友達の紹介で一れつ会を知り、人々がより幸せに、より楽しく人生を送ることができるように支援したいと考え、働かせていただくことになりました。
- ③ベトナムのアニメを観ること、マンガを読むこと



ファム・ティ・ハ

千葉 俊英

土井 寛淳



土井 寛淳 (どい ひろあつ)

- ①法人本部
- ②福祉の現場から一旦離れておりましたが、身の回りのことが落ち着き、再就職させていただきました。これまでの経験や人脈を活かし、事業所間・職員間の潤滑油のような存在になれればと思っています。
- ③音楽(聴くのはもちろん演奏も)

いずみ

池田 洋聖 (いけだ ようせい)

- ①いずみ
- ②就労支援事業や相談支援事業など幅広く取り組まれており、「一人も泣く人のいない一人残らずの人が喜ぶ社会づくり」という理念の下で働き、障がいのある方やご家族の支援をしたいと強く思ったからです。
- ③釣り、ドライブ、プロ野球観戦



池田 洋聖



春日寮

ヴィ・ティ・トゥイ

- ①春日寮
- ②両親も高齢になり、介護が必要となってきたこともあり、介護をもっと学びたいと思ったのが動機です。今、関わっている利用者さんの生活や特性をしっかり理解し、学びを深めていきたいです。
- ③料理をつくること。できれば、日本料理を覚えてベトナムに帰ったら両親に作ってあげたいです。



ヴィ・ティ・トゥイ

青葉

山本 虎汰朗

(やまもと こたろう)

- ①青葉
- ②施設見学をさせて頂き、実際の活動場面を見て、利用者様一人ひとりに寄り添って支援を行っている職員の方々の姿に感銘を受け、私も一緒に働いてみたいと思いました。
- ③楽器演奏



山本 虎汰朗

黒田 翔太

(くろだ しょうた)

- ①青葉
- ②人の役に立てる仕事がしたいと思い、就職しました。自分の弟が一れつ会でお世話になっていた時期があり、笑顔で「楽しかった」と言って帰ってくるのを見て良い職場だと思いました。
- ③アニメ、漫画を見ること



黒田 翔太

『ふくやまマラソン』に出場しました！

～練習頑張ったぞー！練習を続ける事は大事、走って気持ち良かった！～



これから走るよ



気合い入れて走ってます！

前年度は快晴でマラソン日和だった「ふくやまマラソン」。今年はなんだか雨模様…。大会に参加されるおふたりは、朝から「雨、強くないでほしいな」「緊張する」と、不安そうな表情でした。

会場で準備体操、ウォーミングアップをし、伴走の支援員が「スタートの時間になるからスタートラインへ並びましょう」「気合い入れて行こう！」と声を掛けると、表情も和らぎ、「行くぞ～」と、元気な声が出るようになりました。

おふたりは日頃の練習の成果を発揮し、最後まで集中して走り切りました。ゴール後に感想を聞くと、「ゴールできてよかったー！楽しかった！」「来年は今年よりも良いタイムで走りたい」と、気持ちはもう、来年の『ふくやまマラソン』に向けられていました。来年の開催日は晴れることを願って、利用者・支援員ともに練習に打ち込んでいきたいと思えます。

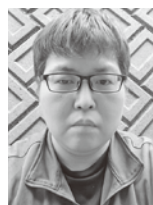


集中、集中



走り切ったぞ

記事作成者



いこいの家
三宅 友彦
(入職20年目)

4年ぶりの『ふくやまマラソン』

～いつもと違う景色を見てきたよ～

春日寮からは、『ふくやまマラソン』へ6名の利用者さんが参加しました。

当日の福山市の天気は、午後から60%の確率で雨の予報でした。参加する利用者さんは、「雨らしいよ」「合羽がいるかな」と、天気のことを心配しておられました。しかし、天気は競技終了まで何とか持ちこたえ、競技中は時々晴れ間も見える空で、とても快適に参加できました。

参加した利用者さんたちは、帰寮後も熱冷めやらぬ感じで、「来年も参加したい！」「また明日から練習しよう」と、当日参加していない職員や利用者の方に楽しそうに話をされていました。



スタンプも集めます！



景色も楽しみながら。



達成感に溢れた笑顔。

記事作成者



春日寮
下江 広太
(入職7年目)

令和6年能登半島地震における 広島DWAT(ディーワット)チームによる派遣活動に参加して

広島県災害派遣福祉チーム「広島DWAT」の一員として、2月8日～14日、石川県金沢市にある『いしかわ総合スポーツセンター』で支援活動を行いました。そこは、1.5次避難所として開設されたとても大きな施設で、メインアリーナには災害用テントが200張以上設置されており、多くの被災した高齢の方が生活されていました。

今回のDWATの役割は、「なんでも福祉相談」「テントを巡回訪問」「同行支援(避難場所に設置されている旅行会社の窓口へ同行して、2次避難先を探す)」「1.5次避難所の退所に向けた相談支援」「避難者のデータ管理」の大きく5つで、他県のメンバーとテントを巡回訪問して被災者のお話を聞き、次の生活に向けたサポートを行いました。被災者の方は、「妻と離れるのは嫌だから、一緒のところがいい」「能登から避難しようと言ったけど、お父さんは『能登がいい』と言って残っている。私だけホテルに行くのは忍びない」など、初対面の私たちにも切実な思いを話してくださいました。

次の段階として、旅行会社の窓口に行き2次避難所として開設している旅館やホテルを探したり、福祉サービスが必要な方には避難所に派遣されている多職種団体と連携したりと、お一人おひとりの要望に沿った次の生活に繋がられるよう活動しました。

被災された方々は、困難な状況の中でやり切れない思いを抱えながらも、「遠くから来てくださってありがとうございます」と、私たちを思いやる言葉をかけてくださり、何とも言えない気持ちになりました。デジタルが発達した世の中ではありますが、人と人と向き合って話をすることの大切さを改めて感じました。



広島DWAT
説明動画

記事作成者

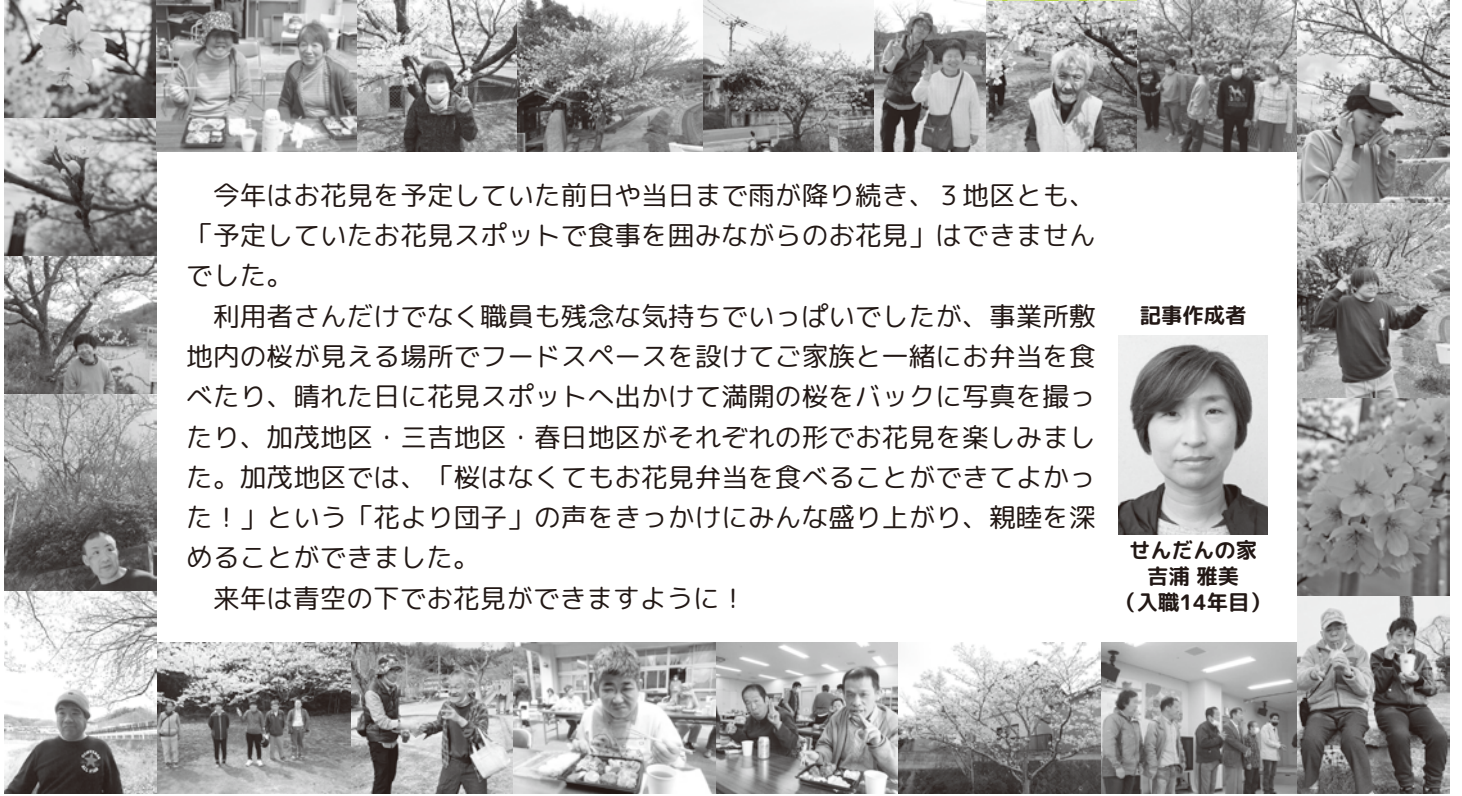


ほっと
村田 利徳
(入職22年目)

新型コロナウイルス感染症予防の取り組みについて

新型コロナウイルス感染症は第5類に移行しましたが、重症化リスクが高い人たちが集まる福祉施設においては、施設内で感染が拡がらないような対策をおこなうよう国から求められています。これを踏まえ一れつ会では、引き続き三密回避やマスクの着用、手洗いやうがい、手指消毒や検温、換気の実施、事業所館内や公用車の消毒などの取り組みを続け、感染症予防をしながら活動や行事を行っております。

春にはやっぱり、きれいな桜が見たいよね



今年はお花見を予定していた前日や当日まで雨が降り続き、3地区とも、「予定していたお花見スポットで食事を囲みながらのお花見」はできませんでした。

利用者さんだけでなく職員も残念な気持ちでいっぱいでしたが、事業所敷地内の桜が見える場所でフードスペースを設けてご家族と一緒に弁当を食べたり、晴れた日に花見スポットへ出かけて満開の桜をバックに写真を撮ったり、加茂地区・三吉地区・春日地区がそれぞれの形でお花見を楽しみました。加茂地区では、「桜はなくてもお花見弁当を食べることができてよかった！」という「花より団子」の声をきっかけにみんな盛り上がり、親睦を深めることができました。

来年は青空の下でお花見ができますように！

記事作成者



せんだんの家
吉浦 雅美
(入職14年目)

ありがとうございました

(2023.12~2024.2)
(順不同)

●御祝・御礼

- ・松井 敦子様
- ・福山平成大学バレーボール部様

●ご寄贈

法人本部

- ・(社福)まほろば学園様
- ・(株)アデリー福山支店様
- ・株式会社SNK(ハッピー号)様
- ・OHANAオハナ様
- ・中国短期大学様
- ・(株)ダスキンニコ様
- ・信菱液化ガス(株)様
- ・山田 俊乃様
- ・池本 シズエ様、福田 ミツ子様
- ・松井 敦子様

・橋 あきら様 加茂地区/ほほえみ

- ・高橋 京子様
- ・杉原 真里子様
- ・宮嶋 卓士様
- ・藤井 トミ様
- ・松葉 康子様

加茂地区/和らぎ

- ・谷本 葉子様
- ・宮嶋 卓士様

三吉地区/しんぷおにい

- ・太洋電機産業株式会社様

- ・中国短期大学様
- ・滝安 友啓様
- ・土屋 康彦様
- ・阿部 尚子様
- 春日地区/春日寮
- ・沖 敏徳様

実習・就業体験実習・職場体験・ボランティア・見学

(2023.12~2024.2)

加茂地区/せんだんの家

- ・実習生
- 中国短期大学様 4名
- 日本福祉大学様 1名
- ・就業体験実習
- 広島県立福山北特別支援学校様 3名

加茂地区/ほほえみ

- ・実習生
- 中国短期大学様 4名
- ・就業体験実習
- 広島県立福山北特別支援学校様 1名
- 三吉地区/しんぷおにい
- ・実習生
- 中国短期大学様 3名

・就業体験実習

- 広島県立沼隈特別支援学校様 1名
- 春日地区/青葉
- ・就業体験実習
- 広島県立福山北特別支援学校様 6名
- 広島県立福山特別支援学校 2名
- 広島県立沼隈特別支援学校 3名

しんぷおにい建て替え完了！～気持ちも新たに～

記事作成者



しんぷおにい
上本 一代
(入職17年目)

多くの方のご理解とご協力のおかげで、待ちに待った『しんぷおにい』の建て替え工事が完了しました。3月23日(土)には、竣工式と地域の方もお招きして内覧会を行いました。あいにくの天気ではありましたが300名ほどの方が来てくださり、大変、嬉しく思いました。

3月25日(月)より三吉町での活動が再開しました。1階はホールとせんべい作業室、相談室、2階は作業室と活動室、3階は食堂とバルコニーとなっています。窓が多く、明るくなりました。特に食堂は開放的でバルコニーもあり、お洒落なカフェのようです。

気持ち新たに利用者の方と一緒に三吉地区を盛り上げていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。



3階 食堂、バルコニー

INTERVIEW

利用者さんに聞きました！

- Q 新しい建物になってどうですか？
- A ・新しい建物で気持ちが良いです。
・広くて良いよ。
・新しいから気持ちが良いです。
・トイレも綺麗だし、作業場も過ごしやすいから好きです。
- Q どんな所が気に入りましたか？
- A ・全部です。
特にトイレが綺麗で快適です。ちゃんと毎日掃除して、きれいなトイレを維持したいです。
・作業場に洗面台があるのが良い。
・作業場が広くて好きです。
・しんぷおにいにお風呂ができたことが嬉しい。



2階 作業室、活動室、浴室



1階 玄関、ホール、せんべい作業室、相談室



竣工式



内覧会、イベント

一れつ友の会の会員になってください

一れつ友の会は、社会福祉法人「一れつ会」が、運営する施設や将来計画している施設の運営に協力し、心身障がい者福祉の向上と福祉教育を通して、互いに助け合いの社会づくりを目的としています。

活動推進のために、この会の目的をご理解頂き、友の会への新加入・ご更新をお願いいたします。

○普通会员 1口 500円/月 ○協力会員 お気持ちに応じて

お問い合わせ・お申し込みは一れつ友の会(せんだんの家内)までお願い致します。TEL(084)972-5544